

テロ特措法延長

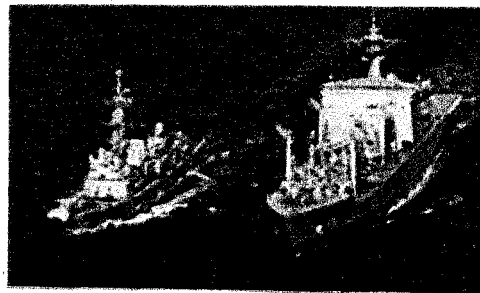
新法反対！10.21立川集会へ！

— 自衛隊はインド洋・イラクから引き上げろ！ —

イラク戦争・アフガン戦争への加担を止めよう

国会開幕直後に辞任した前安倍首相は、「インド洋での給油継続に職を賭ける」と言っていました。後を引き継いだ福田首相も、「国際公約、国際貢献だから続けなければならない」と新法を準備しています。反戦団体ピースデポが、インド洋での給油を受けた米補給艦がイラク戦争に出撃する空母キティホークに給油していた事実を暴露し、防衛省は給油量についても虚偽の報告をしていたことを認めました。給油量だけでも216億円を越えました。

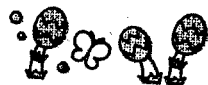
アフガン開戦から6年、イラク開戦から4年半。アフガニスタンにも、イラクにも平和は訪れていません。圧倒的な空爆で町は破壊され、人々の生活も生命も奪われ続けています。「対テロ戦争の見直し」により各国軍隊の撤退が続いています。派遣費用を加えれば1千億円を超える税金をすでに使った対テロ戦争への協力。まず特措法の延長をやめ、本当の国際貢献とは何か、アメリカの言いなりで良いのかを問いなおしましょう。



全国で進む日米軍事一体化に反対しよう

9月29日、沖縄では11万人の県民集会が持たれました。第二次世界大戦で地上戦が行われた沖縄。住民を動員し盾とした日本軍は、最後には青酸カリや手榴弾を配って集団自決を迫りました。教科書から集団自決への軍閥との記述を削除するよう命じた検定は、歴史の歪曲そのものです。米軍基地の75%が沖縄に集中し、新しい基地建設も始まっています。「軍隊は住民を守らない」「米軍基地はいらない」という沖縄の人々の声に耳を傾けましょう。

私たちの住む三多摩でも、横田基地に自衛隊航空総隊司令部が移駐し、日米軍事一体化が進められようとしています。日米合同のミサイル防衛司令部も設置される予定です。周辺住民の騒音被害は恒久化されるでしょう。軍用機が戦場に向けて飛び立つ基地の存在を、私たちは許すことはできません。基地や軍隊で平和を作ることはできません。

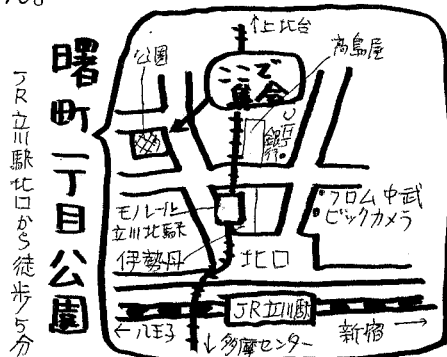


まず自衛隊をインド洋から、イラクから呼び戻しましょう



2007年10月21日(日)

- 12時 立川駅北口でピラ配り
- 14時 曙一丁目公園で集会
- 15時 陸上自衛隊立川駐屯地
— 市内へ向けてデモ行進



☆自衛隊をイラクに送るな！立川共同行動 ☎042-535-0413 (岩田) 525-8244 (島田)